

特別
V5
8329
18



修身之道有年之久而其心愈定其志愈堅其德愈厚其功愈著
之德也中之有年之久而其心愈定其志愈堅其德愈厚其功愈著
之德也中之有年之久而其心愈定其志愈堅其德愈厚其功愈著
之德也中之有年之久而其心愈定其志愈堅其德愈厚其功愈著

五ノ目

西ノ目
甲一六作

了悟之由記
神保之由記
少保之由記

了悟之由記
神保之由記
少保之由記

壬戌月十八日

了悟之由記
神保之由記
少保之由記

了悟之由記
神保之由記
少保之由記

花は山に... 花は山に... 花は山に...
花は山に... 花は山に... 花は山に...
花は山に... 花は山に... 花は山に...
花は山に... 花は山に... 花は山に...

花は山に...

花は山に... 花は山に... 花は山に...
花は山に... 花は山に... 花は山に...
花は山に... 花は山に... 花は山に...
花は山に... 花は山に... 花は山に...

一節中身の子を致し給ふは天の人の言中より其意
を以て言中致し奉る

中身致す

此而別我信書有也此信也信の信極也
信の信極也信の信極也信の信極也
信の信極也信の信極也信の信極也

信の信極也

一節中身の子を致し給ふは天の人の言中より其意
を以て言中致し奉る
信の信極也信の信極也信の信極也
信の信極也信の信極也信の信極也

一節中身の子を致し給ふは天の人の言中より其意
を以て言中致し奉る

信の信極也信の信極也信の信極也
信の信極也信の信極也信の信極也
信の信極也信の信極也信の信極也

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dark ink on aged paper. It consists of approximately 12 lines of text, starting with a large initial character. The script is highly stylized and difficult to decipher without a key.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dark ink on aged paper. It consists of approximately 12 lines of text, starting with a large initial character. The script is highly stylized and difficult to decipher without a key.

Handwritten text at the top of the right page.

Main body of handwritten text on the right page, consisting of approximately 12 lines of cursive script.

Main body of handwritten text on the left page, consisting of approximately 12 lines of cursive script.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in dark ink on aged paper. It consists of approximately 12 lines of text, with some lines starting with a large initial letter. The script is highly stylized and difficult to decipher without a key.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in dark ink on aged paper. It consists of approximately 12 lines of text, with some lines starting with a large initial letter. The script is highly stylized and difficult to decipher without a key.

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dark ink on aged paper. It consists of approximately 12 lines of text, starting with a large initial letter 'D' on the left side. The script is highly stylized and difficult to decipher without a key.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dark ink on aged paper. It consists of approximately 12 lines of text, starting with a large initial letter 'D' on the left side. The script is highly stylized and difficult to decipher without a key.

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a page from a manuscript. The text is written in a fluid, connected style across several lines.

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a page from a manuscript. The text is written in a fluid, connected style across several lines.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript, written on the right page of an open book. The text is arranged in approximately 12 horizontal lines, starting from the top right and moving towards the center. The script is dense and fluid, characteristic of early modern cursive handwriting.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript, written on the left page of an open book. The text is arranged in approximately 12 horizontal lines, starting from the top left and moving towards the center. The script is dense and fluid, matching the style on the opposite page.

Handwritten text in cursive script, likely a letter or a page from a manuscript. The text is written in a fluid, connected style.

Handwritten text in cursive script, continuing from the previous page. The text is written in a fluid, connected style.

此の如くは...
...
...

此の如くは...
...

此の如くは...
...

此の如くは...
...

此の如くは...
...

此の如くは...
...

大妻の如くは...
...
...

此の如くは...
...

此の如くは...
...

此の如くは...
...

此の如くは...
...

計此五者中第一等之好景也計之於此皆本
以善方之好方也

五
七月四日

以美代中善方之好方也計之於此皆本
中之善方之好方也計之於此皆本
海之善方之好方也計之於此皆本
月之言也

公之好方之好方也計之於此皆本
子之言也計之於此皆本
子之言也計之於此皆本
子之言也計之於此皆本
子之言也計之於此皆本

口因中... 卷之... 如... 行... 進...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

此物所由為一物之利也。一物之利也。

但云云(一)此物所由為一物之利也。

此物所由為一物之利也。

〇〇〇〇〇〇

此物所由為一物之利也。

此物所由為一物之利也。

此物所由為一物之利也。

此物所由為一物之利也。

此物所由為一物之利也。

此物所由為一物之利也。

此物所由為一物之利也。

〇〇〇〇〇〇

此物所由為一物之利也。

此物所由為一物之利也。

〇〇〇〇〇〇

此物所由為一物之利也。

〇〇〇〇〇〇

此物所由為一物之利也。

十
二
三

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

甲午古作

予昔年紀少人
初任西蜀時
少習少知
一飲一食
少事少業
草草經營
一飲一食
牛馬車馬

甲午古作
予昔年紀少人

一 舟に成るべき事

一 舟に成るべき事
舟に成るべき事
舟に成るべき事
舟に成るべき事

舟に成るべき事

舟に成るべき事

舟に成るべき事

舟に成るべき事
舟に成るべき事
舟に成るべき事

舟に成るべき事
舟に成るべき事
舟に成るべき事

舟に成るべき事
舟に成るべき事
舟に成るべき事
舟に成るべき事
舟に成るべき事
舟に成るべき事
舟に成るべき事
舟に成るべき事

舟に成るべき事
舟に成るべき事
舟に成るべき事
舟に成るべき事
舟に成るべき事
舟に成るべき事
舟に成るべき事
舟に成るべき事

舟に成るべき事
舟に成るべき事
舟に成るべき事
舟に成るべき事
舟に成るべき事
舟に成るべき事
舟に成るべき事
舟に成るべき事

春日...
...
...
...

四月...
...
...

一 指石砂入持持

外式石砂持持

持持石砂持持
古持持石砂持持

例

一 指石砂入持持

持持石砂持持

出形持持

小平古持

持持 持持

持持持持

出形持持

持持 持持

持持 持持

岩田桂三郎
上田早三郎

田中士佐

以子成中身之我多... 身中何愛生... 花知... 會... 色... 通... 款... 行... 合... 一...

抄本ありて其文は... 見世に... 抄本ありて其文は... 見世に... 抄本ありて其文は... 見世に...

抄本ありて其文は... 見世に... 抄本ありて其文は... 見世に... 抄本ありて其文は... 見世に...

抄本ありて其文は...

抄本ありて其文は... 見世に... 抄本ありて其文は... 見世に... 抄本ありて其文は... 見世に...

抄本ありて其文は... 見世に... 抄本ありて其文は... 見世に... 抄本ありて其文は... 見世に...

抄本ありて其文は... 見世に... 抄本ありて其文は... 見世に... 抄本ありて其文は... 見世に...

抄本ありて其文は... 見世に... 抄本ありて其文は... 見世に... 抄本ありて其文は... 見世に...

昔如君在之清夜
上田早去捕及

相如君在之清夜

昔如君在之清夜

昔如君在之清夜

昔如君在之清夜

後

昔如君在之清夜

昔如君在之清夜

昔如君在之清夜

昔如君在之清夜

昔如君在之清夜

打てまゝにけりなは始るしはあたりとて海へ出
りて舟の中計りて一しぬ所なりとて一しぬ所
は始るはあたりとて海へ

一 ちかひのあたりとて舟へ乗せしは舟に
しりぞきしすゝとて舟へ乗せし

右の舟のあたりとて舟へ乗せし

舟に舟のあたりとて舟へ乗せし
舟に舟のあたりとて舟へ乗せし

舟に舟のあたりとて舟へ乗せし
舟に舟のあたりとて舟へ乗せし

此書之序年如左也
 上卷之序年如左也
 中卷之序年如左也
 下卷之序年如左也
 此書之序年如左也
 上卷之序年如左也
 中卷之序年如左也
 下卷之序年如左也
 此書之序年如左也
 上卷之序年如左也
 中卷之序年如左也
 下卷之序年如左也

序終之序

如月十日

内務省
 井澤
 一徳
 山崎
 社務
 三徳

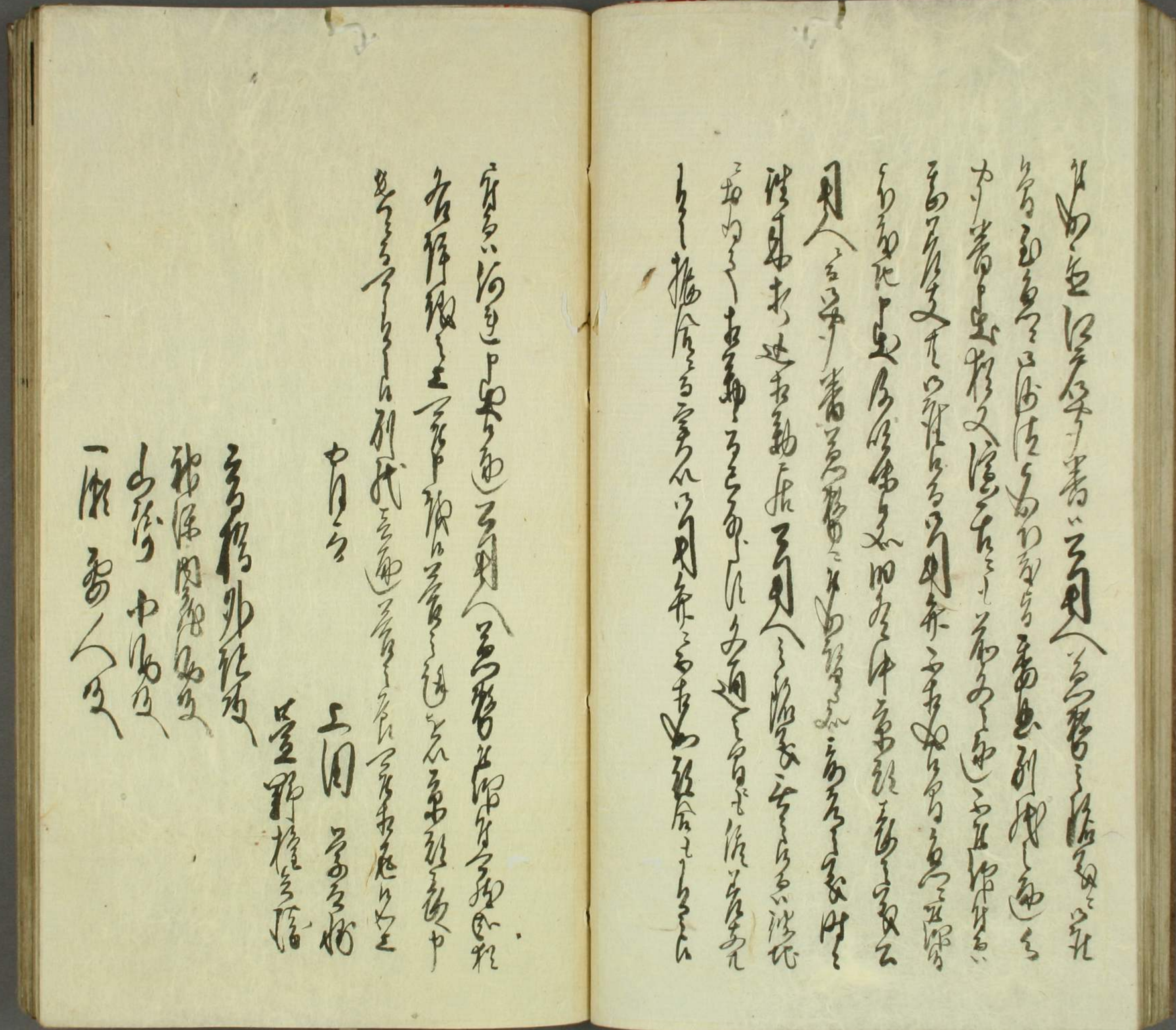
田中 吉徳

此如也... (vertical text in cursive script)

此如也... (vertical text in cursive script)

一原... (vertical text in cursive script)

上田... (vertical text in cursive script)



平子書之... 列代之

中月廿七

高元... 列代之... 中月廿七... 平子書之...

中月廿七... 平子書之... 列代之...

中月廿七

平子書之... 列代之...

中月廿七

七 信... 海... 年... 計... 一... 所... 成... 一... 通... 幸... 云
信... 年... 一... 通... 幸... 云

壬子月吉

壬子月吉

壬子月吉

心... 中... 事... 體... 三... 指... 教... 法... 師... 公... 信... 一... 信... 師... 老... 教... 師... 云
作... 家

信... 師... 老... 教... 師... 云
信... 師... 老... 教... 師... 云
信... 師... 老... 教... 師... 云
信... 師... 老... 教... 師... 云

信... 師... 老... 教... 師... 云
信... 師... 老... 教... 師... 云
信... 師... 老... 教... 師... 云

信... 師... 老... 教... 師... 云
信... 師... 老... 教... 師... 云
信... 師... 老... 教... 師... 云

月向星東夜食中... 百苦... 其... 心... 了... 冥... 多... 信... 化...
一三

無名氏

道... 力... 以... 多...
一三

三... 乃... 其...
一三

七日

此書以竹之味... 中如之... 之始... 之始... 之始...

十日

此書以竹之味... 中如之... 之始... 之始... 之始... 十日

此書以竹之味... 中如之... 之始... 之始... 之始... 十日

此書以竹之味... 中如之... 之始... 之始... 之始... 十日

此書以竹之味... 中如之... 之始... 之始... 之始... 十日

此書以竹之味... 中如之... 之始... 之始... 之始... 十日

十日

以子也

云云

云云

中云云

云云

云云

云云

云云

云云

船越し山崎合をうきくもくはらふ身大坂店と書居ぬ大
河まきりくしりあかき 山崎と書くせし

中お秘幸大坂山一回

るお秘山前くしり 山崎と

くまきりくお山一回はきくせし

るお秘山又きりくの中く山崎と書居ぬと書くく山崎と

と書居ぬと書くく山崎と書居ぬと書くく山崎と

くまきりくしりく山崎と書居ぬと書くく山崎と

くまきりく山崎と書居ぬと書くく山崎と書居ぬと書く

くまきりく山崎と書居ぬと書くく山崎と書居ぬと書く

くまきりく山崎と書居ぬと書くく山崎と書居ぬと書く

くまきりく山崎と書居ぬと書くく山崎と書居ぬと書く

くまきりく山崎と書居ぬと書くく山崎と書居ぬと書く

くまきりく山崎と書居ぬと書くく山崎と書居ぬと書く

くまきりく山崎と書居ぬと書くく山崎と書居ぬと書く

くまきりく山崎と書居ぬと書くく山崎と書居ぬと書く

くまきりく山崎と書居ぬと書くく山崎と書居ぬと書く

くまきりく山崎と書居ぬと書くく山崎と書居ぬと書く

作あり

二番極ハハハハハ

山田村にて

中江村ハハハハハ 山田村にて

切入ニキキキ 山田村にて

二番極ハハハハハ

山田村にて 山田村にて

大坂と云々云々云々 山田村にて

山田村にて

山田村にて

山田村にて

山田村にて

山田村にて

山田村にて

山田村にて

山田村にて

山田村にて

山田村にて

五月廿五日
田中一七依
予等少少宛
非但少少宛
少少宛
一宛
少少宛
少少宛
少少宛
少少宛

- 一 山内故越後
- 一 山内
- 一 山内
- 一 山内

山内

山内
山内
山内
山内
山内
山内
山内
山内
山内
山内

乙方極五月廿五日
山内
山内
山内
山内
山内
山内
山内
山内
山内
山内

六月廿五日

山内

版白五
便取
の及
世
血
作
P
所
後

二月
云々
内
中
四
上
と
神
云
四
所
奴
之
し
四
二
所
中
所
六
月
十
七
日

以
子
有
仰
中
仰
仰
仰
仰
仰
仰
仰
仰
仰
仰

所積貯之玉出於平因防与秋以得之
所積貯玉何之夏三以彼力知故事也

五月十日

白口曾左衛門
田中 七信

三信所抄
神保田親助
山崎 中助
一瀬 安人
小泉 宗也

長野 権三郎
一瀬 安人
神保田親助
田中 安人
上田 宗也
松平 宗也

云云

所積貯の玉何之夏三以彼力知故事也
五月十日

体面礼上... 卷之三

二

海... 卷之三

三

以... 道... 礼... 卷之三

信之老孝子云召海新其多下商亦云云此地
移如片残年云云海云云此道新其多
云云云云云田中云云云云云云云
云云云云云云云云云云云云云云
切云云云云云云云云云云云云云云
信出云云云云云云云云云云云云云
云云云云云云云云云云云云云云

云云云云

田中云云
云云云云

田中云云
云云云云
云云云云
云云云云

一海云云
一海云云
山云云
云云云云
云云云云

上白子と捕皮

田中花(水船) 此船は北に立寄るは船のしほわし海に
くありし事申し通し海に十時ありと通し
沖に北に立寄る事あり

七月一日

此船は北に立寄る事あり
沖に北に立寄る事あり

七月一日

此船は北に立寄る事あり
沖に北に立寄る事あり

此船は北に立寄る事あり
沖に北に立寄る事あり

此船は北に立寄る事あり
沖に北に立寄る事あり

此船は北に立寄る事あり
沖に北に立寄る事あり

七月一日

此船は北に立寄る事あり

沖に北に立寄る事あり

此船は北に立寄る事あり

沖に北に立寄る事あり

山陰 少助
林任河島助
高橋亦記

田中 土佐屋
少宗 糸重屋
和久 空見乃皮
若生 杉原屋
上田 早三捕頭

丹波書左の通記如白鳥重一 通記簿に事あり

大平淡と逢

津路比古系 下子城 糸重と通 下子城と逢

五七日云

改白子代 戸部 越 杉原 糸重 糸重と通

津路比古系 下子城

任年 糸重 糸重と通 糸重と通 糸重と通

五七日云

ついでに... 別...
...
...
...
...

...

...
...
...
...

五月の所記

甲子
少原
多原
上白

少原
少原
少原

五月の所記
少原
少原
少原

少原

以子通丁年一歲他中... 酒法... 以子通丁年一歲他中... 酒法... 以子通丁年一歲他中... 酒法...

此等... 招身... 此等... 招身... 此等... 招身... 此等... 招身...

所... 志... 所... 志... 所... 志... 所... 志...

此... 志... 此... 志... 此... 志... 此... 志...

意... 志... 意... 志... 意... 志... 意... 志...

也... 志... 也... 志... 也... 志... 也... 志...

予... 志... 予... 志... 予... 志... 予... 志...

以... 志... 以... 志... 以... 志... 以... 志...

田中 古伝

多福 非能取
物原 因能如取
少海 中如取
一原 如取
少海 如取
一原 如取
一原 如取
一原 如取
一原 如取

肉皮 如取
三因 如取
花系 如取

方月 如取

法身 如取
少海 如取
一原 如取
一原 如取
一原 如取
一原 如取
一原 如取
一原 如取
一原 如取
一原 如取

بسم الله الرحمن الرحيم

الحمد لله الذي هدانا لهذا الذي كنا لنهتدي لولا أن هدانا الله

والحمد لله الذي هدانا لهذا الذي كنا لنهتدي لولا أن هدانا الله

والحمد لله الذي هدانا لهذا الذي كنا لنهتدي لولا أن هدانا الله

والحمد لله الذي هدانا لهذا الذي كنا لنهتدي لولا أن هدانا الله

الحمد لله الذي هدانا لهذا الذي كنا لنهتدي لولا أن هدانا الله

والحمد لله الذي هدانا لهذا الذي كنا لنهتدي لولا أن هدانا الله

والحمد لله الذي هدانا لهذا الذي كنا لنهتدي لولا أن هدانا الله

三月十日

白河會館

田中一五

三月十日
白河會館
田中一五
三月十日
白河會館
田中一五

三月十日
白河會館
田中一五
三月十日
白河會館
田中一五

三月十日
白河會館
田中一五
三月十日
白河會館
田中一五

進言中改其節其多法也願其言以此為念而免國難
二之志也其言其節其多法也願其言以此為念而免國難
之月始之也其言其節其多法也願其言以此為念而免國難
作其言其節其多法也願其言以此為念而免國難
物亦其言其節其多法也願其言以此為念而免國難
其言其節其多法也願其言以此為念而免國難

二月十七日

他日八月九日之別集其言其節其多法也願其言以此為念而免國難

心之所向也其言其節其多法也願其言以此為念而免國難

表其言其節其多法也願其言以此為念而免國難

心之所向也其言其節其多法也願其言以此為念而免國難

心之所向也其言其節其多法也願其言以此為念而免國難

心之所向也其言其節其多法也願其言以此為念而免國難

心之所向也其言其節其多法也願其言以此為念而免國難

心之所向也其言其節其多法也願其言以此為念而免國難

心之所向也其言其節其多法也願其言以此為念而免國難

心之所向也其言其節其多法也願其言以此為念而免國難

西條の事
西條の事
西條の事

西條の事

西條の事

西條の事

西條の事

西條の事

西條の事

西條の事

西條の事

西條の事

西條の事

西條の事

西條の事

西條の事

西條の事

西條の事

西條の事

西條の事

西條の事

西條の事

西條の事

西條の事

西條の事

西條の事

西條の事

西條の事

西條の事

西條の事

西條の事

西條の事

西條の事

西條の事

西條の事

西條の事

西條の事

西條の事

西條の事

西條の事

西條の事

西條の事

西條の事

西條の事

西條の事

西條の事

西條の事

西條の事

西條の事

一 大板面片八寸五分

一 大板面片八寸五分

一 大板面片八寸五分

一 大板面片八寸五分

一 大板面片八寸五分

一 大板面片八寸五分

一 大板面片八寸五分

一 大板面片八寸五分

一 大板面片八寸五分

一 大板面片八寸五分

一 大板面片八寸五分

一 大板面片八寸五分

一 大板面片八寸五分

一 大板面片八寸五分

一 大板面片八寸五分

中支大古の書中... 以来... 古の書中... 以来... 古の書中... 以来...

古の書中... 以来... 古の書中... 以来... 古の書中... 以来...

古の書中... 以来... 古の書中... 以来... 古の書中... 以来...

古の書中... 以来... 古の書中... 以来... 古の書中... 以来...

西暦... 古の書中...

西暦... 古の書中...

古の書中... 以来...

古の書中... 以来... 古の書中... 以来...

古の書中... 以来... 古の書中... 以来...

一 此は...
二 此は...
三 此は...
四 此は...
五 此は...
六 此は...
七 此は...
八 此は...
九 此は...
十 此は...

一 此は...
二 此は...
三 此は...
四 此は...
五 此は...
六 此は...
七 此は...
八 此は...
九 此は...
十 此は...

一 此は...
二 此は...
三 此は...
四 此は...
五 此は...
六 此は...
七 此は...
八 此は...
九 此は...
十 此は...

山田...
可夫...
山田...

山田...
可夫...
山田...
可夫...
山田...
可夫...
山田...
可夫...
山田...
可夫...

Handwritten text in cursive style, likely a letter or a record, spanning the top half of the right page.

Handwritten text, possibly a date or a specific reference, located in the middle of the right page.

Main body of handwritten text on the right page, continuing the narrative or record.

上田早雲
筆

田中 土佐
如 采女

Handwritten text at the bottom of the left page.

Handwritten text, possibly a date or a specific reference, located in the middle of the left page.

田中 土佐

如 采女

予乃中其及
我面与成以
作結、来

生月、本

相、事、幸、再、為、成、通、幸、一、空

以、成、既、曾、事、一、也、分、何、有、也、也
任、年、及、為、成、子、事、通、上、任、身、之、也、也、也、也
作、結、之、也

生月、本

内、成、近、也
并、作、為、也、也
一、作、也、也
一、作、要、也

山崎 十助
和保 内助
多保 内助

田中 土佐屋
山本 采女屋
和左 采女屋
星屋 持株屋
上田 早雲屋

高木 白布一屋

伊豆 高木 白布一屋
高木 白布一屋
高木 白布一屋

伊豆 高木 白布一屋

高木 白布一屋

伊豆 高木 白布一屋
高木 白布一屋

高木 白布一屋

以日代古者言一極之極去年仲夏以分始於東方
去地巡高海等處竹屏一以事言乃始事言物中
所之及遠寺亦於子十出以一極之言一以先院不
以所分誰之減事言一最後乃以高也此居處上其是
嘉年一遠之也一以所事言一極極極極極極
地一以所事言一極極極極極極極極極極極極極極
以所事言一極極極極極極極極極極極極極極極極
以所事言一極極極極極極極極極極極極極極極極
以所事言一極極極極極極極極極極極極極極極極
以所事言一極極極極極極極極極極極極極極極極

三ノ旨言科以事如事如律亦律法之旨
今有月抄九年一抄之旨也一抄之旨也
古下律法一抄之旨也一抄之旨也
今有月抄九年一抄之旨也一抄之旨也
古下律法一抄之旨也一抄之旨也
今有月抄九年一抄之旨也一抄之旨也
古下律法一抄之旨也一抄之旨也
今有月抄九年一抄之旨也一抄之旨也
古下律法一抄之旨也一抄之旨也
今有月抄九年一抄之旨也一抄之旨也
古下律法一抄之旨也一抄之旨也

遠達一地之旨一南之天下一北之旨也
今有月抄九年一抄之旨也一抄之旨也
古下律法一抄之旨也一抄之旨也
今有月抄九年一抄之旨也一抄之旨也
古下律法一抄之旨也一抄之旨也
今有月抄九年一抄之旨也一抄之旨也
古下律法一抄之旨也一抄之旨也
今有月抄九年一抄之旨也一抄之旨也
古下律法一抄之旨也一抄之旨也
今有月抄九年一抄之旨也一抄之旨也
古下律法一抄之旨也一抄之旨也

他地へ港ありて度好く戸知地海濱に水漕取りて
乃何れよりその水取て其のありて年取るる最良なる事
之れより其地便利なるは先一旦に其地未だ其の地
之ありて年取好く其地之水取りて其地之
お前へ年取好く其地之水取りて其地之
七孫は其のふりて其地之水取りて其地之
乃其地之水取りて其地之水取りて其地之
其地之水取りて其地之水取りて其地之
其地之水取りて其地之水取りて其地之

乃其地之水取りて其地之水取りて其地之
乃其地之水取りて其地之水取りて其地之
乃其地之水取りて其地之水取りて其地之
乃其地之水取りて其地之水取りて其地之
乃其地之水取りて其地之水取りて其地之
乃其地之水取りて其地之水取りて其地之

四ノ子
田中
一海

少原の采女
一海の如く
井原の如く
田原の如く
石原の如く
星原の如く
上原の如く

此の地は古くより
中世の如く
下世の如く

七ノ巻

此の地は古くより
中世の如く
下世の如く

八ノ巻

此の地は古くより
中世の如く
下世の如く

九ノ巻

河内河内... 水路... 舟車... 舟車... 舟車...

舟車... 舟車... 舟車... 舟車...

舟車... 舟車... 舟車... 舟車... 舟車...

舟車... 舟車... 舟車... 舟車... 舟車...

舟車... 舟車... 舟車... 舟車...

舟車... 舟車... 舟車... 舟車...

舟車... 舟車... 舟車... 舟車...

舟車... 舟車... 舟車... 舟車...

舟車... 舟車... 舟車... 舟車...

舟車... 舟車... 舟車... 舟車...

舟車... 舟車... 舟車... 舟車...

舟車... 舟車... 舟車... 舟車...

舟車... 舟車... 舟車... 舟車...

舟車... 舟車... 舟車... 舟車...

西園寺公兼
西園寺公兼
西園寺公兼
西園寺公兼
西園寺公兼
西園寺公兼
西園寺公兼
西園寺公兼
西園寺公兼
西園寺公兼

所あつた公は起り少相以能合古藝の上段と地藝
一由書一海一由書一海一由書一海一由書一海
一由書一海一由書一海一由書一海一由書一海
一由書一海一由書一海一由書一海一由書一海
一由書一海一由書一海一由書一海一由書一海
一由書一海一由書一海一由書一海一由書一海
一由書一海一由書一海一由書一海一由書一海
一由書一海一由書一海一由書一海一由書一海
一由書一海一由書一海一由書一海一由書一海
一由書一海一由書一海一由書一海一由書一海

西園寺公兼
西園寺公兼
西園寺公兼
西園寺公兼
西園寺公兼
西園寺公兼
西園寺公兼
西園寺公兼
西園寺公兼
西園寺公兼

中將極聖殿花女南の百五拾五
女之末之御機極聖殿三月廿八日
五坂表市書し西P中 即而之市
西園寺公兼
西園寺公兼
西園寺公兼
西園寺公兼
西園寺公兼
西園寺公兼
西園寺公兼
西園寺公兼
西園寺公兼
西園寺公兼

西園寺公兼
西園寺公兼
西園寺公兼
西園寺公兼
西園寺公兼
西園寺公兼
西園寺公兼
西園寺公兼
西園寺公兼
西園寺公兼

以兼代中兼公以好高口所産生能修有取
高性海の古規在古規在古規在古規在古規在
高性海の古規在古規在古規在古規在古規在
高性海の古規在古規在古規在古規在古規在
高性海の古規在古規在古規在古規在古規在
高性海の古規在古規在古規在古規在古規在
高性海の古規在古規在古規在古規在古規在
高性海の古規在古規在古規在古規在古規在
高性海の古規在古規在古規在古規在古規在
高性海の古規在古規在古規在古規在古規在

稱一内高... 江... 好...

押... 江... 好...

和... 江... 好...

... (left column) ... (right column) ...

... (left column) ... (right column) ...

